

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21	Z
3/00	6 5 1	3/00	6 5 1 A

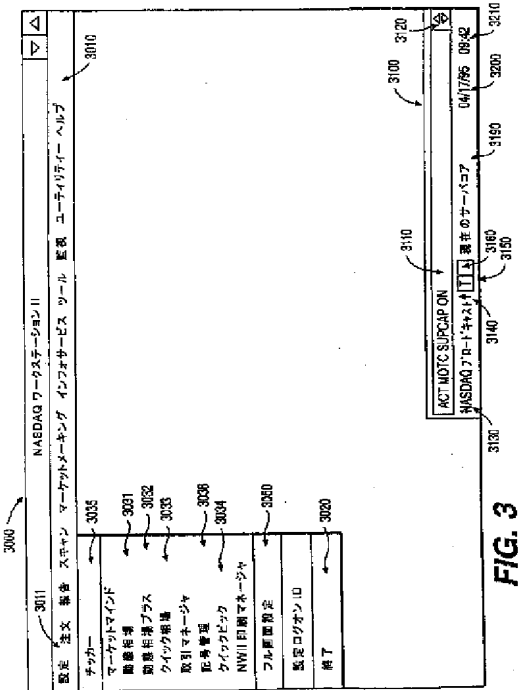
審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 54 頁)

(21)出願番号	特願平10-515867	(71)出願人	ザ ナスダック ストック マーケット インコーポレイテッド アメリカ合衆国 20006-1506 ワシント ン ディーシー エヌ. ダブリュ. ケイ ストリート 1735
(86) (22)出願日	平成9年9月25日 (1997. 9. 25)	(72)発明者	マーチン、ピーター アメリカ合衆国 07450 ニュージャージ ー州 リッジウッド オーバーブルック ロード 417
(85)翻訳文提出日	平成11年3月26日 (1999. 3. 26)	(74)代理人	弁理士 恩田 博宣
(86)国際出願番号	P C T / U S 9 7 / 1 7 1 3 1		
(87)国際公開番号	W O 9 8 / 1 3 7 7 8		
(87)国際公開日	平成10年4月2日 (1998. 4. 2)		
(31)優先権主張番号	0 8 / 7 2 2 , 8 4 7		
(32)優先日	平成8年9月26日 (1996. 9. 26)		
(33)優先権主張国	米国 (U S)		

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 証券取引用オンライン取引処理システム

(57)【要約】
データ処理システムは、証券を取引する証券取引システムとのインターフェースを提供する。このシステムにより、ユーザは、特定の機能に適したディスプレイ (3000) を構成することができ、また、特定の証券用のディスプレイ (3050) を表示することができる。ユーザはさらに、選択した証券についての情報を示すディスプレイを見ること (3034)、取引作業をモニタリングすること、取引に参加し、取引を報告することができる。さらに、ユーザは連続的にアップデートされる選択した証券のセットの情報を表示することができ (3035)、所望の証券、特定の情報、選択した証券に関連する機能を、表示されたリストの中から簡単に選択することができる。



【特許請求の範囲】

1. 証券が取引される証券取引システムとのインターフェースをユーザに提供するデータ処理システムであって、システムディスプレイデータベースが証券取引システムについての情報を示す複数のシステムディスプレイに示されるべき情報を有するデータ処理システムにおいて、ディスプレイをカスタマイズする方法であって、前記データ処理システムによって実行される以下の段階、

複数のシステムディスプレイのどれが所望の証券についての情報を表示するかを示す管理ディスプレイを要求する第1入力を、ユーザから受取る段階と、

前記第1入力に応じて管理ディスプレイを表示する段階と、

複数のシステムディスプレイの内のどれの変更が所望の証券についての情報を表示するかを示す第2入力を、ユーザから受取る段階と、

前記第2入力によって示された変更を反映するためにシステムディスプレイデータベースをアップデートする段階と
を有することを特徴とする方法。

2. 前記データ処理システムによって実行される、

前記第2入力によって示された変更を反映するよう管理ディスプレイを変更する段階をさらに有することを特徴とする請求項1に記載の方法。

3. 前記データ処理システムによって実行される、

証券取引システム上で取引されている所望の証券を表す第3入力をユーザから受取る段階と、

前記第3入力に応じて、所望の証券についての予め選択された情報を表示する段階と、

をさらに有することを特徴とする請求項1に記載の方法。

4. 前記システムディスプレイデータベースは、また、証券取引システムで所望

の証券を取引するためのパラメータを識別する取引情報をも有し、前記方法が、前記データ処理システムによって実行される、

前記所望の証券についての取引情報を表示する段階と、

前記所望の証券に関する取引情報への変更を示す第3入力をユーザから受取る

段階と、

前記第3入力に従って前記システムディスプレイデータベースをアップデートする段階と、

前記第3入力にしたがって前記管理ディスプレイを変更する段階と、
を有することを特徴とする請求項1に記載の方法。

5. 前記証券取引により、ユーザが、チックサイズによって上下するかもしれない相場に従って売呼値または買呼値を作ることができ、また、前記取引情報を表示する段階が、

所望の証券のチックサイズについての情報を表示する副段階を有することを特徴とする請求項4に記載の方法。

6. 前記所望の証券のチックサイズを変更するための第4入力をユーザから受け取る副段階と、

前記第4入力によって示された変更を反映するために前記システムディスプレイデータベースをアップデートする副段階と、
をさらに有することを特徴とする請求項5に記載の方法。

7. 前記証券取引により、ユーザが、チックサイズによって上下に変更するかもしれない相場に従って自動的に購入を執行する自動注文サービスを利用して、証券を購入することができ、また、取引情報を表示する前記段階が、

前記所望の証券のための自動注文サービスを利用するために、ユーザの権限を表示する副段階と、

前記ユーザが前記自動注文サービスの使用を許可された場合、前記自動注文サービスのために、前記所望の証券のチックサイズについての情報を表示する副段階と

を有することを特徴とする請求項4に記載の方法。

8. 前記方法が、前記自動注文サービス用にチックサイズを変更するための第4入力をユーザから受取る副段階と、

前記第4入力によって示された変更を反映して前記システムディスプレイデータベースをアップデートする副段階と、

を有することを特徴とする請求項7に記載の方法。

9. 前記複数のシステムディスプレイがウィンドウであることを特徴とする請求項1に記載の方法。

10. 証券を取引するための証券取引システムとのインターフェースをユーザに提供するデータ処理システムであって、各々が情報の関連するセットを有する証券をユーザが取引するデータ処理システムにおいて、所望の証券についての情報を提供する方法であって、前記データ処理システムによって実行される以下の段階、

前記所望の証券の表示を要求する第1入力をユーザから受取る段階であって、前記表示が、前記所望の証券と関連する情報のセットから選択した情報の所定のサブセットを有する段階と、

前記所望の証券についての情報の所定のサブセットを有するディスプレイを表示する段階と、

前記所望の証券の取引を特定する第2入力をユーザから受取る段階と、

前記取引を実行する段階と、

前記取引を前記証券取引システムに報告する段階と

を有することを特徴とする方法。

11. 前記ディスプレイを表示する前記段階が、

最低売呼値と最高買呼値を表示する副段階を有することを特徴とする請求項10に記載の方法。

12. 買呼値市場の深さが、前記所望の証券に買呼値を作るマーケットメーカーの数であり、マーケットメーカーが、所定の数の前記所望の証券を取引するために証券取引システムに登録された取引会社であり、また、売呼値市場の深さが、前記所望の証券に売呼値を作るマーケットメーカーの数であり、

前記ディスプレイを表示する段階が、

前記所望の証券の買呼値市場の深さと売呼値市場の深さとを表示する副段階を有することを特徴とする請求項11に記載の方法。

13. マーケットメーカーが、マーケットメーカー売呼値とマーケットメーカー

買呼値に従って、所定の数の前記所望の証券を取引するために証券取引システムに登録された取引会社であり、

前記ディスプレイを表示する段階が、

ユーザの売呼値とユーザの買呼値を表示する副段階を有することを特徴とする請求項11に記載の方法。

14. ユーザが前記所望の証券にどれだけの金額を払うかを表す買呼値と、前記所望の証券にどれだけの金額を受けるかを表す売呼値とを使って証券が取引され、チックサイズは、ユーザがその買呼値と売呼値を変更する金額を表し、

前記ディスプレイを表示する段階が、

前記所望の証券のチックサイズを表示する副段階と、

前記チックサイズによって、ユーザが前記所望の証券について行う買呼値と売呼値の変更を示す第3入力をユーザから受取る副段階と、

前記買呼値または売呼値の変更を証券取引システムに送信する副段階と、

前記チックサイズによる買呼値と売呼値の変更を反映するためにディスプレイを変更する副段階と、

を有することを特徴とする請求項10に記載の方法。

15. 前記データ処理システムによって実行される、注文を自動的に執行する自動取引サービスを介して前記所望の証券の量を注文する段階をさらに有することを特徴とする請求項10に記載の方法。

16. ユーザが前記所望の証券にどれだけの金額を払うかを表す買呼値を使って証券の取引が行われ、情報の関連するセットは、前記所望の証券に関連する全ての買呼値を含み、前記ディスプレイを表示する段階が、

ユーザが、前記所望の証券に関連する全ての買呼値の表示を得ることができる副段階をさらに有することを特徴とする請求項10に記載の方法。

17. ユーザが前記所望の証券にどれだけの金額を払うかを表す買呼値と、前記所望の証券にどれだけの金額を受けるかを表す売呼値とを使って証券が取引され、情報の関連するセットが、前記所望の証券に関連する全ての買呼値と全ての売呼値を含み、また、前記ディスプレイを表示する段階が、

ユーザが、前記所望の証券に関連する全ての買呼値と全ての売呼値の表示を得ることができる副段階をさらに有することを特徴とする請求項10に記載の方法。

18. 前記所望の証券にどれだけの金額を受けるかを表す売呼値を使って証券が取引され、情報の関連するセットが前記所望の証券に関連する全ての売呼値を含み、前記ディスプレイを表示する段階が、

ユーザが、前記所望の証券に関連する全ての売呼値の表示を得ることができる副段階をさらに有することを特徴とする請求項10に記載の方法。

19. データ処理システムによって実行される、前記所望の証券の表示と関連する機能を提供するための、

使用可能な機能のセットを表示する段階と、

前記使用可能な機能の所望のサブセットを識別するための第3入力ユーザから受取る段階と、

前記所望の証券のディスプレイに、前記所望の使用可能な機能のサブセットを表示する段階と、

ユーザが、前記使用可能な機能のサブセットから機能を選択できる段階と、

選択された機能を実行する段階と

をさらに有することを特徴とする請求項10に記載の方法。

20. 前記ディスプレイを表示する段階が、

他のユーザからの取引要求情報を表示する副段階をさらに有し、

前記取引を実行する段階が、前記ユーザの取引要求を他のユーザと通信する副段階をさらに有することを特徴とする請求項10に記載の方法。

21. 証券を取引するための証券取引システムとのインターフェースを提供するデータ処理システムであって、ユーザが、売呼値と買呼値に従って証券を取引するデータ処理システムにおいて、選択した証券についての情報を提供する方法であって、データ処理システムによって実行される以下の段階、

選択した証券のセットに関連する情報を含むチッカーディスプレイを要求する第1入力を、ユーザから受取る段階と、

前記チッカーディスプレイを表示する段階と、

前記チッカーディスプレイにかけて選択した情報を所定のスクロール方向においてスクロールする段階と、

前記選択した証券のセットに関連する情報を変更するための第2入力を、ユーザから受取る段階と、

変更した選択情報をスクロールする段階と、

を有することを特徴とする方法。

22. 前記データ処理システムによって実行される、

前記スクロール方向への変更を示す第3入力をユーザから受取る段階と、

前記第3入力によって示された変更を反映して、所定のスクロール方向を変更する段階と、

をさらに有することを特徴とする請求項21に記載の方法。

23. 前記データ処理システムが、最低売呼値、最高買呼値、取引報告、及びマーケットメーカー相場を含む前記選択した証券データの各々を記憶し、証券の選択したセットに関連する情報が、セット内の各証券ごとに記憶された少なくともいくつかのデータを示し、マーケットメーカーが、特定の証券の所定数を取引するために、前記証券取引システムに登録された取引会社であり、変更した情報をスクロールする前記段階が、

予め選択した証券に関するどのデータを表示するかを示す第3入力を、ユーザから受取る副段階と、

前記第3入力に従い、示されたデータを表示する副段階と、

を有することを特徴とする請求項21に記載の方法。

24. データ処理システムによって実行される、

前記ディスプレイにかけてスクロールするラインの数を示す第3入力を受取る段階をさらに有し、

選択した情報をスクロールする前記段階が、前記第3入力によって示されるラインの数を表示する副段階を有することを特徴とする請求項21に記載の方法。

25. 前記データ処理システムによって実行される、

選択した証券が表示される注文を示す第3入力を、ユーザから受取る段階を有し、

前記選択した情報をスクロールする段階が、

前記選択した証券を、前記第3入力により示された順番において表示する副段階を有することを特徴とする請求項21に記載の方法。

26. ユーザに、証券を取引するための証券取引システムとのインターフェースを提供するデータ処理システムにおいて、選択した証券についての情報をユーザに提供する方法であって、前記データ処理システムによって実行される以下の段階、

各々が複数の証券の異なるものと関連する複数のアイコンを含む第1ウィンドウを作成する段階と、

前記第1ウィンドウを表示する段階と、

前記複数のアイコンから1つを選択する第2入力をユーザから受取る段階と、

前記第2入力に応じて、前記選択したアイコンと関連する証券に関する情報と機能を有する第2ウィンドウを表示する段階と、
を有することを特徴とする方法。

27. 前記データ処理システムによって実行される、

複数の予め選択した証券が第1ウィンドウに表示される順番で、前記第2ウィンドウを連続的に提供する段階をさらに有することを特徴とする請求項26に記載の方法。

28. 前記データ処理システムによって実行される、

前記証券及び関連する複数のアイコンの変更を示す第3入力を、ユーザから受取る段階と、

前記第3入力に従って、前記証券及び関連する複数のアイコンを変更する段階

と、

をさらに有することを特徴とする請求項26に記載の方法。

【発明の詳細な説明】**証券取引用オンライン取引処理システム****背景技術**

本発明は一般に、マルチユーザ環境における取引のオンライン処理に関するものである。さらに詳細には、証券市場用の取引処理システムに関するものである。

証券市場において、トレーダーは売値と買値を用いて証券を売買する。通常、「証券」という用語は企業の株を意味するが、本発明の完全な理解のためには、この用語のより広い意味が適切である。本発明の目的の証券の主な特徴は、常のシステムまたは通常の取引において証券取引ができる点である。

売手は「売呼値」または証券を売る値段を公示し、買手は「買呼値」または証券を買う値段を送信する。もちろん、売手は最高値で売ろうとし、買手は最低値で買おうとする。最高の売呼値あるいは最低の買呼値である「内部相場」は、売手と買手にとっての最良値を表す。

効果的な競争のために、トレーダーは、売買の最も有利な状況はいつであるかを決定する上での特定の情報を必要とする。この情報には、他のトレーダーが何を売買しているかが含まれる。

従来、トレーダーはニューヨーク証券取引所またはアメリカン証券取引所のような株式立会場で注文を取引してきた。しかし、全米証券業協会（NASD）が証券取引のためのオンライン取引処理システムを製造した。このシステムにより、トレーダーは迅速且つ容易に、相場を作り、内部相場を見付けることができるようになった。このシステムを使用するには、NASDがユーザに、画面ディスプレイを備えたワークステーションを供給する。この画面ディスプレイにはカスタマイズすることができるもの、固定されているものがある。このシステムは、従来のシステムが提供しなかった機能とサービスを提供する。

本発明の目的は、現在のシステムを進歩させ、ペースの速い証券市場に迅速且つ柔軟に対応する、証券および証券市場についてのさらなる情報をトレーダに提供することである。

本発明の別の目的は、トレーダが簡潔且つ容易に取引を行って報告できるシステムを提供することである。

本発明のさらなる目的および利点について以下の説明で述べ、またその一部は説明から明白になり、あるいは本発明の実施によって認識されるであろう。本発明の目的および利点は、また添付の請求の範囲において特に指摘された要素と組合せの手段によって理解され、達成されるであろう。

発明の開示

目的を達成するため、またここで具現化され広く説明された本発明の目的によれば、本発明は、証券を取引する証券取引システムとのインターフェースをユーザに提供するデータ処理システムにて動作する、本発明によるディスプレイをカスタマイズする方法を含む。システムディスプレイデータベースは、システムディスプレイに表示される、証券取引システムについての情報を含む。この方法は、次に示す、データ処理システムによって実行される段階を備えている。すなわち、どのシステムディスプレイが所望の証券についての情報を表示するかを示す管理ディスプレイを要求する第1入力をユーザから受取る段階と、第1入力に応じて管理ディスプレイを表示する段階と、所望の証券についての情報を表示するシステムディスプレイの変更を示す第2入力をユーザから受取る段階と、第2入力によって表示された変更を反映するためにシステムディスプレイデータベースをアップデートする段階である。

本発明による、所望の証券についての情報を提供するための別の方法は、証券を取引するための証券取引システムとのインターフェースをユーザに提供するデータ処理システムを使用するものである。ユーザは、情報の関連するセットを持つ証券を取引する。この方法は、次に示す、データ処理システムによって実行される段階を備えている。すなわち、所望の証券のディスプレイを要求する第1入力をユーザーから受取る段階であり、このディスプレイは、所望の証券と関連す

る情報のセットから選択した所定の情報のサブセットを含み、またさらに、所望の証券についての情報の所定のサブセットを含むディスプレイを表示する段階と、所望の証券の取引を特定するための第2入力をユーザから受取る段階と、取引

を実行する段階と、証券取引システムに取引を報告する段階である。

本発明により、選択した証券についての情報を提供する別の方法も、証券を取引する証券取引システムとのインターフェースを提供するデータ処理システムにおいて動作するものである。この証券取引システムにおいて、ユーザは売呼値と買呼値に従って証券を取引する。この方法は、次に示す、データ処理システムによって実行される段階を備えている。すなわち、証券の選択したセットに関連する情報を含むチッカーディスプレイを要求するための第1入力を、ユーザから受取る段階と、チッカーディスプレイを表示する段階と、チッカーディスプレイ上で選択した情報を、所定のスクロール方向においてスクロールする段階と、証券の選択したセットと関連する情報を変更するための第2入力を、ユーザから受取る段階と、変更した選択情報をスクロールする段階である。

本発明により、選択した証券についての情報をユーザに提供するさらなる方法も、証券を取引するための証券取引システムを備えたインターフェースをユーザに提供するデータ処理システム上で動作するものである。この方法は、次に示す、データ処理システムによって実行される段階を備えている。すなわち、各々が異なる証券と関連した複数のアイコンを含む第1ウィンドウを作成する段階と、第1ウィンドウを表示する段階と、複数のアイコンから1つを選択するための第2入力をユーザから受取る段階と、第2入力に応じて、選択したアイコンと関連する証券に関する情報と機能を含む第2ウィンドウを表示する段階である。

上述した一般の説明と、後述する詳細な説明は、例証および説明のみを目的とするものであり、請求の範囲に記載された本発明を限定するものではない。

本明細書において具現化され、また本明細書の一部を構成する添付の図面は、本発明の実施例を図示し、また、詳細な説明と共に本発明の趣旨を説明するものである。

図面の簡単な説明

第1図は、本発明の好ましい実施例によるNWIIハードウェアシステム構築を示す。

第2図は、本発明の好ましい実施例のログオンウィンドウを示す。

第3図は、本発明の好ましい実施例のメインウィンドウを示す。

第4図は動態相場ウィンドウを示す。

第5図は動態相場設定ウィンドウを示す。

第6図は動態相場プラスウィンドウを示す。

第7図は動態相場プラス設定ウィンドウを示す。

第8図はクイック相場ウィンドウを示す。

第9図はクイック相場設定ウィンドウを示す。

第10図はクイックピックウィンドウを示す。

第11図はクイックピック設定ウィンドウを示す。

第12図はチッカーウィンドウを示す。

第13図はチッカー設定ウィンドウを示す。

第14図は記号管理ウィンドウを示す。

本発明を実施するための最適態様

次に、添付の図面を参照して本発明の好ましい実施例を詳細に説明する。全図面を通じて、同一の部分あるいは段階は同一の参照番号で表している。これから行う説明は次のように構成されている。

- A. 序論
- B. システムのあらまし
- C. 動態相場
- D. 動態相場プラス
- E. クイック相場
- F. クイックピック

- G. チッカー
- H. 記号管理
- I. 結論

A. 序論

本発明の好ましい実施例はNASDAQワークステーションII(NWII)である。

NWIIは、証券取引システム上の証券のモニタリングおよび取引に必要な情報をユ

ーザに提供する。NWIIは、トレーダーであるユーザに対し、市場状況に迅速に対応して利益を最大にできるよう、迅速に決定を行うために必要な情報を提供する。NWIIはまた、トレーダーの個々のニーズに合った情報を提供する。好ましい実施例の操作を完全に理解するには、特定の用語を理解しなければならない。投資家は、企業の利益のシェアを得ることを期待して「証券」を購入する。証券取引は、証券を持つ側、および証券の所有者に代わって行動する側が「売」値を設定した時点で開始する。「取引価格」は「売」値、「買」値、あるいは「売」値と「買」値の組合せであってもよい。

売手と買手が証券のある特定の価格で同意すると、「取引」が終了する。取引は、個人、企業、ディーラー、仲買人によって開始および終了される。ディーラーは個人、企業のどちらであっても構わない。

売手と買手の間での競合する利益が市場を生み、その運営を画定する。上述したような売手と買手にとっての最良値を表す状況を「内部相場」という。内部相場は最高売値と最低買値から成る。

B. システムのあらまし

第1図は、本発明の実行が可能な自動証券システム100を示す図である。システム100は中央コンピュータ110、複数のワークステーション120、121、122、123、124、125、126、127、128を備えている。中央コンピュータ110とワークステーション120～128は、以下に示す機能の実行が可能なあらゆる装置であっ

てよい。

ワークステーション120～128の各々が、ディスプレイ130、キーボード／入力装置135、プリンタ140、処理ユニット／メモリ150を備えていることが好ましい。処理ユニット／メモリ150は、ディスプレイ130上に表示される様々なウィンドウを生成し、プリンタ140で情報を印刷し、キーボード／入力装置135からのユーザ入力を受取り、中央コンピュータと通信する。また処理ユニット／メモリ150は、要求に応じて様々なローカル論理および算術演算を実行する。中央コンピュータ110とワークステーション120～128の両方は、NWIIソフトウェアシステムを構成するソフトウェアの部分を含んでいる。

一般に、ワークステーション120~128は、データ表示およびディスプレイ、中央コンピュータ110とのデータ転送、ユーザ定義情報のシステムディスプレイデータベースへの記憶を含む、NWIIソフトウェアのこれらの部分を備えている。ユーザ定義情報は、証券取引システムにおける証券取引のための識別パラメータを有する取引情報を含む。

中央コンピュータ110は、NWIIソフトウェアにおける、ワークステーション120~128と対話し、証券およびユーザについてのデータベース情報129を操作し、他のデータ処理システム（図示せず）と通信する部分を含む。また、好ましい実施例をウィンドウベースのユーザインターフェースを参照して説明しているが、多くの別タイプのディスプレイインターフェースを使って本発明を実施することができる。

本発明の自動証券取引に参加するには、NWIIユーザはシステムにログオンする必要がある。各NWIIユーザは関連IDとパスワードを持っている。あるユーザのIDは、特定のワークステーションが登録された企業と関連している。

ワークステーション120~128上に存在するNWIIソフトウェアは、まず第2図に示すようにログオンウィンドウ2000を表示する。ユーザはテキストボックス2010にIDを、テキストボックス2020にパスワードを入力し、ログオン処理を実行するためにログオンボタン2030を選択するか、ヘルプを見るためにHELPボ

タン2050を選択するか、あるいはこの画面から出るために終了ボタン2040を選択する。

ログオンウィンドウ2000はさらに、SDPテキストエリア2060と組織IDテキストエリア2070を備えている。ログオンウィンドウ2000が開かれるとユーザのシステムが、SDPテキストエリア2060内にユーザのサービスデリバリープラットフォーム名を、またORGIDテキストエリア2070内にユーザの組織証明を自動的に置く。

ログオンウィンドウ2000はまた、画面設定ボックス2080を備えている。ユーザが画面設定ボックス2080を選択すると、NWIIソフトウェアが、前回ユーザがNWIIソフトウェアを終了した際に構成されたディスプレイを開く。

NWIIソフトウェアがユーザの許可を決定すると、NWIIソフトウェアが第3図に

示すメニューバー3010を備えたメインウィンドウ3000を表示する。メニューバー3010は、メニュー3020のようないくつかのプルダウンメニューを含む。ユーザが設定オプション3011を選択するとNWIIソフトウェアがメニュー3020を表示する。

プルダウンメニュー3020は、チッカー設定機能3031、マーケットマインド機能3032、動態相場設定機能3033、動態相場プラス設定機能3034、クイック相場設定機能3035、取引マネージャ機能3036、記号管理機能3037、クイックピック設定機能3038、印刷マネージャ機能3039といったユーザ選択可能設定機能を備えている。各設定機能3031~3039によりNWIIソフトウェアが関連する設定機能のウィンドウが表示され、ユーザは各設定ウィンドウ内で関連ディスプレイウィンドウを開くことができる。例えば、ユーザがプルダウンメニュー3020から動態相場設定機能3033を選択することにより、NWIIソフトウェアが動態相場ウィンドウを設定するための画面を表示する。次に、NWIIソフトウェアが設定ウィンドウを表示したら動態相場ウィンドウを開く。

または、ユーザはプルダウンメニュー3020からフル画面設定機能3040を選択してもよい。ユーザがフル画面設定機能3050を選択すると、NWIIソフトウェア

が、NWIIシステムマネージャが予め選択したウィンドウを含む画面ディスプレイか、あるいはユーザにより最も最近構成された画面ディスプレイのいずれかをユーザに選択させる。ログオンIDの設定、出口機能3041、3042は、各々それ自体で説明している。

NWIIソフトウェアはまた、ユーザがディスプレイシステムメッセージ用のウィンドウ欠如エリアを表示しない際には、第3図に示すシステム状態ウィンドウ3100を表示する。システム状態ウィンドウ3100は、メッセージエリア3110、スクロールバー3120、システムテキストエリア3130、状態インジケータエリア3140、操作バージョンエリア3150、ニュースインジケータエリア3160、サーバ名エリア3170、データエリア3180、時刻エリア3190を含む。

NWIIソフトウェアはメッセージエリア3110にシステムメッセージを置く。システムメッセージの全てがメッセージエリア3110内に入りきらない場合には、ユーザはスクロールバー3120を使って、メッセージエリア3110に表示されたメッセー

ジをスクロールアップ、スクロールダウンさせることができる。NWIIソフトウェアは、システムテキストエリア3130にシステム名を表示する。

状況インジケータエリア3140により、NWIIソフトウェアがシステムの現在状況を表示する。第3図の状況インジケータエリア3140に示された上向きの実線矢印は、システムがアップであることを示す。下向きの実線矢印は、システムがダウンであることを示す。もちろん当業者は、システム状況ディスプレイの特定の方法が設計の選択の問題であると認識するであろう。

操作バージョンエリア3150によってNWIIソフトウェアが、現在システム実行しているNWIIのバージョンを表示する。第3図には、プロダクションバージョンに関連する「P」が示されている。システム管理者がニュースメッセージを送信すると、常にNWIIソフトウェアがニュースインジケータエリア3160に「N」を表示する。NWIIソフトウェアはサーバ名エリア3190に「現在のサーバ」と、ユーザの現在のサーバ名を表示する。NWIIソフトウェアは、日付エリア3200に現在の日付を表示し、時刻エリア3210に現在の時刻を表示する。

次に、設定機能3031～3039に関連するウィンドウのいくつかについて説明する。各ウィンドウの説明では、ウィンドウの説明からそのウィンドウの設定方法までを説明している。

C. 動態相場

ほとんどのユーザにとって、動態相場ウィンドウはこの作業における重要な焦点である。ユーザは絶えず市場全体を入念に見ているが、1つの証券に集中したがるようである。ユーザは、動態相場ウィンドウにより、選択した証券のユーザが限定した主な動きおよびその証券の情報の主要なものに瞬時にアクセスできる。ユーザはさらに、動態相場ウィンドウによって、個々のマーケットメーカー相場および他の証券データをリアルタイムでモニタリングすることができる。マーケットメーカーとは、米国証券取引委員会(SEC)により取引目的で個々の証券を登録して、その銘柄において市場を作することを許可された個人または企業である。

第4図は動態相場ウィンドウ4000を示す。第3図を参照して上述したように、

動態相場ウィンドウ4000には、動態相場設定機能3033またはフル画面設定機能3040から、あるいは構成によっては画面設定ボックス2080を介してアクセスすることが可能である。

動態相場ウィンドウ4000の機能にアクセスするには、ユーザはテキストボックス4010に証券銘柄をタイプする。これに応じてNWIIソフトウェアが、動態相場ウィンドウ4000の様々な情報範囲に埋込みを行う。NWIIソフトウェアは、認識した証券の終値情報をLastテキストエリア4020に埋込む。NWIIソフトウェアは、認識した証券の高低の売呼値および買呼値をHiLoテキストエリア4022に埋込む。また、NWIIソフトウェアは、Insテキストエリア4024に証券の内部相場を表示する。さらにNWIIソフトウェアは、認識した証券の市場の出来高をVolテキストエリア4025に埋込む。NWIIソフトウェアは、選択された証券の終値をPCLテキストエリア4026に埋込む。

NWIIソフトウェアはフラグアイコンを使用して、現在見ている市場を状況エリア4028に表示する。国内市場が終了している場合には、NWIIソフトウェアは、該ソフトウェアが開いていると判断した海外市場情報を表示する。国内市場と海外市場の切替えをしたい場合には、市場切替え機能（図示せず）を選択する。

ボックス4030は海外市場の情報を含んでいる。テキストエリア4032には選択した証券の前日の終値が表示され、テキストエリア4036には選択した証券の最新の内部相場が表示される。国内市場が既に終了し、海外市場が表示されている場合には、ボックス4030には前日の終値と最新の内部相場が表示される。

ユーザは、クイックアップデートボックス4040内に指定されたチックサイズ使用ボタンを使って、表示されている証券の売呼値と買呼値を変更することができる。チックサイズテキストボックス4042には、選択した証券のデフォルトチックサイズが表示される。ユーザは、アップボタン4045またはダウンボタン4047を操作して、このチック値による売呼値と買呼値を変更する。

ボックス4050内のボタンと範囲により、ユーザは取引を報告するか、あるいは取引の注文を入力することができる。取引の報告または注文の入力のいずれのデフォルト条件も、以下に示す動態相場設定ウィンドウを使って決定される。

取引を報告するには、ユーザはボタン4055を選択し、テキストボックス4056に適切な情報を入力し、送信ボタン4057を選択する。ユーザは、ユーザの指定によりマーケットメーカーあるいは注文入力ファームのどちらかとして取引を報告することができる。注文入力ファームは、SECによって取引のために証券を登録することを許可された個人または企業であるが、注文する銘柄において市場を作らない。

ボタン4055を選択した後、丸4051内のマークがユーザをマーケットメーカーと識別し、丸4053内のマークがユーザを注文入力ファームとして識別する。ユーザは、以下に示す動態相場ステップウィンドウを使って、その資産のデフォルトおよび丸4051、4053を決定することができる。クリアボタン4053を選択すると、テキストボックス4056内の全ての情報を削除し、丸4051、4053をデフォル

ト値にリセットする。

注文を入力するには、ボタン4059を選択し、テキストボックス4056内に適切な情報を入力して送信ボタン4057を選択する。また、セレクトネットまたは他のあらゆる注文入力実行サービスを介して注文の入力を行うことができる。セレクトネットおよび他のあらゆる注文入力実行サービスのどちらも、ユーザが利用できる自動注文実行サービスである。セレクトネットにより、ユーザは作因 (agent) または素因 (principle) としての注文を、何株でも入力することができ、他の注文入力実行サービスでは、通常、注文できる株数は限られている。ユーザがボタン4059を選択すると、NWIIソフトウェアがボタン4051によって別のサービスを、ボタン4053によってセレクトネットを認識する。ユーザは、以下に示す動態相場設定ウィンドウを使ってボタン4051、4053のデフォルトを決定する。ここでもクリアボタン4058が上述したように機能する。

既に説明したように、ボタン4051、4053は、ユーザが取引を報告するのか入力するのかによって、異なる機能として働く。取引を入力する場合、どちらの注文入力サービスが選択されているかをボタン4051、4053が示す。取引を報告する場合には、ボタン4051、4053は、ユーザがマーケットメーカーあるいは注文入力ファームのどちらとして取引を報告しているのかを表示する。

以下に示す構成において行う選択によって、ボックス4060は売呼値、買呼値の両方についての情報、あるいは、テキストボックス4062、4064に売呼値のみ、または買呼値のみの情報を表示する。ユーザが売呼値と買呼値、デフォルトオプションの両方を選択した場合、NWIIソフトウェアは、ランク付けした買呼値のリストをテキストボックス4062に表示し、ランク付けした売呼値のリストをテキストボックス4064に表示する。買呼値と売呼値は価格により、続いて時間によりランク付けされる。例えば、第一の最良値の買呼値または売呼値が第一にリストされる。

全ての情報を同時に表示できない場合には、ユーザは、多くのウィンドウ製品の標準機能であるスクロールバー4066、4067を使ってテキストボックス4062、

4064の各々をスクロールすることができる。また、ユーザが売呼値のみまたは買呼値のみを見たい場合には、NWIIソフトウェアは売呼値と買呼値のランク付けされたリスト両方をボックス4062、4064に表示する。

8つのプログラム可能ボタン4080~4087により、ユーザは以下に示す動態相場設定ウィンドウを使って、機能をカスタマイズすることができる。カスタマイズ機能を選択するには、この機能に関連するボタンを選ぶだけである。ウィンドウ4000のような動態相場ウィンドウを設定するには、プルダウンメニュー3020から動態相場設定機能3031（第3図）を選択する。これに応じて、NWIIソフトウェアは第5図に示す動態相場設定ウィンドウ5000を表示する。ユーザは、ウィンドウリストボックス5010に並ぶウィンドウの1つをハイライトすることにより特定の動態相場ウィンドウを選ぶ。動態相場ウィンドウの全ての情報を一度に表示することが無理な場合には、ユーザはスクロールバー5011を使ってウィンドウリストボックス5010に挙げられたウィンドウをスクロールできる。あるいは、ウィンドウテキストボックス5015内にウィンドウ名をタイプしてもよい。

選択したウィンドウを削除する場合は、削除ボタン5020を選択するだけである。これでシステム全体からそのウィンドウが除去される。

新規ウィンドウを追加するには、テキストボックス5015内に新規ウィンドウの名称をタイプし、次に、前に追加ボタン5021あるいは後に追加ボタン5022を押す

。前に追加ボタン5021は、ウィンドウリストボックス5010内のハイライトされたウィンドウ名の上に新規ウィンドウを追加し、後に追加ボタン5022はウィンドウリストボックス5010内のハイライトされたウィンドウ名の下に新規ウィンドウを追加する。

さらに、NWIIソフトウェアに、別のあらゆるウィンドウから関連する動態相場ウィンドウを瞬時に表示させる「ホットキー」を選択することもできる。ユーザは、組合せボックス5030を選択すると表示されるドロップダウンリストから、この「ホットキー」を選択する。

ユーザは、ボックス5040を使って、動態相場ウィンドウ4000用のデフォルト

情報として使用される特定の情報を設定することができる。クイック注文またはクイック報告を選ぶには、それぞれボタン5042、5043を選択する。動態相場ウィンドウ4000にクイック注文とクイック報告機能を提供することにより、注文を入力するため、また取引を報告するために動態相場ウィンドウ4000を終了する必要がなくなる。

クイック注文ボタン5042を選択すると、動態相場ウィンドウ4000を開いた際に、NWIIソフトウェアがデフォルトとしてクイック注文ボタン4059を選択する。注文を執行するには、ユーザは売買する数量、証券の記号、注文を執行するファームまたは代理店の証明といった情報を入力する。

クイック報告ボタン5043を選択すると、動態相場ウィンドウ4000を開いた際に、NWIIソフトウェアがデフォルトとしてクイック報告ボタン4055を選択する。取引を報告するには、売買する数量、証券の記号、注文を執行するファームまたは代理店の証明といった情報を入力する。

ボタン5044、5045を使って、小口注文執行注文サービスまたはセレクトネットといった注文入力サービスを選択する。全米証券業協会（NASD）が、セレクトネット、注文交渉サービス、小口注文執行サービスを提供している。ある一定数以上の証券を注文する際にはセレクトネットを利用しなければならない。

セレクトネットを利用して注文をする場合、ユーザはテキストボックス4056内に情報を入力する。この情報は、ユーザの証明、買い注文であるか売り注文であ

るか、そして価格を含む。

小口注文執行サービスを利用して注文する場合も、テキストボックス4056内に同様の情報を入力する。1つ違うことは、価格が市場価格に制限されることである。次に注文は、交渉なしで自動的に執行される。もちろん、別タイプの注文執行サービスも全米証券業協会（NASD）より提供されている。

マーケットメーカーにデフォルトタイプを設定するには選択ボタン5046を選択し、注文入力ファームにデフォルトタイプを設定するにはボタン5047を選択する。確実に値をデフォルトにするために、ユーザは保存ボタン5050を選択し

なければならない。そうしないと、システムはクイック注文、セレクトネット、マーケットメーカーのデフォルト値を使用する。ユーザはまた、ソフトウェアに値をデフォルトとして保存させ、動態相場ウィンドウ4000を開かせるオープンボタン5052を選択してもよい。

ボックス5070により、ユーザはテキストボックス4062、4064へのデフォルト表示の設定を行う。売呼値と買呼値の情報をデフォルトとして表示するには、組合せボタン5071を選択する。買呼値の情報のみを表示するには、買呼値のみボタン5072を選択する。売呼値の情報のみを表示するには、売呼値のみボタン5073を選択する。

ボックス5080にプログラム可能機能ボタン4080～4087を設定する。ボックス5082～5088は各々ボタン4080～4087と関連する。例えば、組合せボックス5086を使って、使用可能機能のリストからプログラム可能機能ボタン4085を選択する。ユーザが組合せボックス5086を選択する場合、ソフトウェアがボタン4085に指定される機能のリストを表示する。ユーザはこのリストからボタン4085に指定する機能を選択する。

常時、しかし少なくとも全ての所望の変更がなされた際に、ユーザは保存ボタン5050を選び、NWIIソフトウェアにソフトウェアの変更を保存させる。ユーザが全ての変更を完了し、動態相場設定機能から出たい場合には、設定終了ボタン5054を押してNWIIソフトウェアに動態相場設定ウィンドウを閉じさせる。

動態相場設定ウィンドウ5000は他にも、ユーザにさらなる機能を提供するボタ

ンをいくつか備えている。例えば、オープンボタン5052を選択した場合、NWIIソフトウェアは選択されたウィンドウを開く。デモボタン5056を選択した場合には、NWIIソフトウェアはデモンストレーションウィンドウを開き、NWII動作について知らないユーザのために動態相場ウィンドウの例を表示する。カラーボタン5058を選択すると、NWIIソフトウェアはユーザに、選択された動態相場ウィンドウ用の様々な色を選択させる。

D. 動態相場プラス

第6図に示す動態相場プラスウィンドウ6000は動態相場ウィンドウ4000と類似しているが、さらに特定の証券において取引を管理するための作業を見ること、または実行することが可能である。

動態相場プラスウィンドウ6000には、動態相場プラス設定機能3034あるいはフル画面設定機能3040を使って、または構成によっては画面設定ボックス2080を介して、プルダウンメニュー3020からアクセスできる。簡潔化のために、動態相場ウィンドウ4000の関連する機能と同様に動作する動態相場プラスウィンドウ6000については説明を繰返さない。NWIIソフトウェアは、ボックス6005内で識別された証券に関する全てのメッセージをテキストボックス6010に表示する。特定の証券に関する全てのメッセージを同時に表示することが不可能な場合には、ユーザはスクロールボタン6015を使ってリスト全体をスクロールする。

ユーザは、特定の証券を管理するためにボタン6020～6090を選択する。AONボタン6020によって、ユーザは注文「オールオアナッシング」を受けることができる。これはユーザが全体で1つの注文だけを受注したい場合のみに行われる。AONボタン6020を選択すると、他のユーザがその注文の分配を受けていない場合に限り、NWIIソフトウェアが注文を受注する。

ANYボタン6030により、ユーザは他のユーザがその注文の分配を受けているか否かに関わらず、その注文のあらゆる分配を受けることができる。ExecSSボタン6040により、ユーザは空売りを行うことができる。ユーザは、現在所有してはいないが後日購入する予定の証券を売る場合に、空売りを実行する。これらの場合、ユーザがその証券の価格が後になって、今売った値段よりも下がることを望む

ことは明らかである。

部分ボタン6050を選択すると、ソフトウェアが交渉ウィンドウを表示するので、ユーザは注文の分配を受けることができる。カウンタボタン6060を選択すると、ソフトウェアが交渉ウィンドウを表示するため、ユーザは注文をカウンタ

することができる。

減価ボタン6070を選択すると、ユーザは優先注文を減価することができる。優先注文とは、特定の銘柄におけるマーケットメーカーに向けられた注文である。マーケットメーカーは注文のいくらかの分配を執行しなければならないため、マーケットメーカーの相場において送信された優先注文は債務を生じることがある。

Killボタン6080を選択すると、ソフトウェアがオープンになっている全ての注文をキャンセルする。取替ボタン6090により、ユーザはオープン注文をキャンセルして、新規の注文と取替えることができる。

第7図に示した動態相場プラス設定ウィンドウ7000は、動態相場設定ウィンドウ5000と似た設定ウィンドウであるが、追加ボックス7010を備えている。ユーザがボックス7010を選択すると、NWIIソフトウェアが証券の全ての優先注文をテキストボックス6010に表示する。

E. クイック相場

クイック相場機能はユーザに、一般に要求される情報への迅速なアクセスを提供し、これによりユーザは一般に必要な入力を迅速に行うことができる。例えば、ユーザがある証券の最良買呼値、最良売呼値、終値を見ることができ、また、ある証券のユーザ自身の相場を見ることができ、ソフトウェアの証券の市場の深さをモニタリングでき（ソフトウェアの証券においてユーザがマーケットメーカーである場合）、証券の相場をアップデートし、取引報告または注文を入力することができる。

ユーザが、動態相場設定機能3035またはフル画面設定機能3040を使って、あるいは構成によっては画面設定ボックス2080を介してプルダウンメニュー3020から動態相場ウィンドウを開くと、NWIIソフトウェアが第8図に示したような動態相

場ウィンドウを表示する。次に、ユーザが証券の記号をテキストボックス8010に入力すると、NWIIソフトウェアがソフトウェアの証券の最高値の買呼値

を買呼値テキストエリア8011に表示し、最低値の売呼値を売呼値テキストエリア8012に表示する。SECの承諾セクションとマーケットオペレーション人事によって証券の記号が決定される。

ユーザがマーケットメーカーである場合、NWIIソフトウェアは買呼値と売呼値市場の深さをテキストエリア8013、8014に各々表示する。NWIIソフトウェアは、システムに変更が生じる度にこれらの値をアップデートする。ユーザがマーケットメーカーである場合にはさらに、NWIIソフトウェアはユーザ自身の買呼値と売呼値を「YOUR」テキストエリア8015に表示する。

クイックアップデートボックス8020により、第4図のクイックアップデートボックス4040と同様に特定の数量の相場を迅速にアップデートすることができる。ボックス8030内のボタンとテキスト範囲も第4図のボックス4050と同様に動作し、これによりユーザが取引の報告または注文の入力を行える。

クイック相場ウィンドウを設定するには、プルダウンメニュー3020（第3図）からクイック相場設定機能3035を選択すると、NWIIソフトウェアが第9図に示すようにクイック相場設定ウィンドウ9000を表示する。ユーザは、第5図のウィンドウ5000のボックス5010、5015、ボタン5020～5022の使用と同様のボックス9010、9015、ボタン9020～9022を使って、どのクイック相場ウィンドウを構成または作成するかを選択する。

ユーザは、あらゆるウィンドウからNWIIソフトウェアに直ちにクイック相場ウィンドウを表示させるために、「ホットキー」を指定することができる。選択したウィンドウに「ホットキー」ボタンを選択するには、組合せボックス9030を使ってキーを選ぶ。

クイック相場設定ウィンドウ9000のこの他のいくつかのボタンも、ユーザにさらなる機能を提供する。例えば、オープンボタン9040を選択するとNWIIソフトウェアが選択されたウィンドウを開く。デモボタン9045を選択した場合には、NWIIソフトウェアがデモンストレーションウィンドウを開き、クイック相場ウィンド

ウの例をユーザに示す。カラーボタン9048を選択した場合には、ユー

ザは選択されたクイック相場ウィンドウの色を様々な色の中から選ぶことができる。

ボックス9050において、設定ウィンドウ9000は、ユーザが選択したクイック相場ウィンドウ8000の特定のデフォルト値を設定することを許容する。ボタン9052、9053を使って、デフォルト状態としてクイック注文またはクイック報告のいずれかを選択することができる。さらに、ボタン9055、9056を使って、小口注文執行サービスまたはセレクトネットを各々選択することができる。また、ボタン9058で、選択したウィンドウのデフォルトタイプをマーケットメカに設定し、ボタン9059で、デフォルトタイプを注文入力ファームに設定する。ユーザがボタン9060を選択しない場合、クイック入力機能を使用することができない。

常時、しかし少なくともユーザが所望する変更を全て完了した後に、ユーザは保存ボタン9080を選択してNWIIソフトウェアにその変更を保存させなければならない。設定機能から出たい場合には、設定終了ボタン9090を押すと、NWIIソフトウェアが記号管理ウィンドウを閉じる。

F. クイックピック

クイックピック設定機能3038またはフル画面設定機能3040を使って、あるいは構成によっては画面設定ボックス2080を介して、プルダウンメニュー3020からクイックピックウィンドウを開くと、NWIIソフトウェアが第10図に示すようにクイックピックウィンドウ10000を表示する。

クイックピックウィンドウ10000により、ユーザは個々の証券の動態相場または動態相場プラスウィンドウを迅速に開くことができる。例えば、第10図はクイックピックウィンドウの24証券アイコンを示す。ユーザが特定の証券に関連したアイコンボタンを選択すると、NWIIソフトウェアが動態相場ウィンドウを開き、これを表示する。選択した証券の動態相場ウィンドウが既に表示されている場合には、ソフトウェアはその動態相場ウィンドウを最前面に移動する。

各ボタンは特定の証券に関連している。従って、ユーザは、アイコンボタン10

010上に表示された証券記号の動態相場または動態相場ウィンドウを開くためにアイコンボタン10010を選択する。ユーザは、クイックピックウィンドウ11000を設定する際に、各アイコンボタンに関連する証券と同様に、アイコンボタンの数を決定する。

ユーザが、プルダウンメニュー3020からクイックピック設定機能3038を選択すると（第3図）、第11図に示すように、NWIIソフトウェアがクイックピック設定ウィンドウ11000を表示する。ユーザは、第5図のウィンドウ5000のボックス5010、5015、ボタン5020から5022と類似するボックス11010、11015、ボタン11021～11023を使って、どのクイックピックウィンドウを構成または作成するかを選択する。

次に、クルーズ調整オプションボックス11030を使って、クイックピックウィンドウ100000に表示された自動シーケンススルーボタンのオプションを設定する。クルーズ可能調整ボタン11031を選択すると、NWIIソフトウェアがクルーズ調整機能を可能にし、これによりNWIIソフトウェアが、ユーザが実際にそれらのアイコンボタンを次々と選択しているかのように、第5図のアイコンボタンに関連するウィンドウをシーケンスする。

ユーザは、テキストボックス11032に、NWIIソフトウェアが次の動態相場あるいは相場プラスウィンドウを表示するまでの待ち時間である遅延を秒にて入力する。組合せボックス11033から特定のスタート/ストップキーを選択すると、ユーザは再びスタート/ストップキーを押すまで、NWIIソフトウェアのシーケンスを停止することができる。

ユーザは、記号配列ボックス11040を使って、クイックピックウィンドウに特定の表示オプションを設定する。ボックス11041に画面中に表示されているアイコンボタンの数を入力する。

ボタン11043を選択した場合、NWIIソフトウェアがテキストボックス11010に従った順番で証券を配列する。ボックス11044を選択した場合には、NWIIソ

フトウェアは記号をアルファベット順に配列する。

ボタン11051～11054は、ウィンドウ5000中の同様の名称が付いたボタンと同様

に動作する。

G. チッカー

チッカー設定機能3031またはフル画面設定機能3040、あるいは構成によっては画面設定ボックス2080を使ってプルダウンメニューからチッカーウィンドウを開く。チッカーウィンドウが選択されると、NWIIソフトウェアが第12図に示すようにチッカーウィンドウ12000を表示する。

チッカーウィンドウ12000は、全ての証券の全部または選択した部分についての取引および相場アップデートの全容を表示する。チッカーは全ての証券についての終値取引報告、マーケットメーカー相場変更、内部相場変更を表示することができる。

プルダウンメニュー3020からチッカー設定機能3031を選択すると、NWIIソフトウェアが第13図に示すようにチッカー設定ウィンドウ13000を表示する。ユーザは、第5図のウィンドウ5000中のボックス5010、5015、ボタン5020～5022と同様の機能を持つボックス13010、13020、ボタン13021～13023を使って、どのウィンドウを構成あるいは作成するかを選択する。

特定のチッカーウィンドウを選択すると、NWIIソフトウェアは選択したチッカーウィンドウに含まれる全ての証券をボックス13030に表示する。選択した証券の記号の全てが1つの画面に収まりきらない場合には、ユーザはスクロールバー13032を使用することができる。

またユーザは、ボックス13010、13020、ボタン13021～13022と類似するボックス13030、13040、ボタン13041～13043を使って、選択したチッカーウィンドウへ証券を追加すること、またはチッカーウィンドウから証券を削除することができる。

チッカーオプションボックス13060内のチッカーオプションにより、ユーザはチッカーのスクロール方向と、チッカーが占めるラインの数を変更することができる。ボタン13061を選択するとスクロール方向を左から右へと設定し、ボタン13062を選択するとスクロール方向を右から左へと設定する。ユーザはボックス13063に特定のチッカーについてのライン数を入力する。この数は2から、ページ

全体上のラインの総数にまで変更することができる。

記号オプションボックス13070内の記号オプションにより、ユーザは特定の証券についてのチッカーに表示された情報を調整することができる。ボックス13071を選択すると、NWIIソフトウェアが終値取引報告を表示する。ボックス13072を選択すると、表示された報告の最低株式高を表示する。ボックス13073を選択すると、NWIIソフトウェアが内部相場のあらゆる変更を表示する。ボックス13075を選択すると、NWIIソフトウェアがマーケットメーカー相場アップデートを表示する。ボックス13076は誰の相場を表示するか、マーケットメーカーを識別する。

ボタン13080～13084は、第5図に示したウィンドウ5000の同じ名称のボタンと同様に動作する。

H. 記号管理

ユーザが、記号管理設定機能3037またはフル画面設定機能3050、あるいは構成によっては画面設定ボックスを介して、プルダウンメニュー3020から記号管理を選択すると、NWIIソフトウェアが第14図に示す記号管理ウィンドウ14000を表示する。

記号管理ウィンドウ14000は、どのウィンドウにどの証券が表示されているかを見ることができる中央配置を提供する。ウィンドウ14000はにより、ユーザは自分が選んだ証券を見ることができ、また、別のウィンドウに証券を追加、削除することができる。また、ウィンドウ14000によって、ユーザはデフォルトチックサイズを変更し、個別のSOESチックを特定することができる。

ウィンドウ14000は、ユーザが選択した証券の記号全部を含むテキストボック

ス14010を備えている。NWIIソフトウェアは、ユーザが選択した証券の記号の各々についてチックサイズ、もしあればSOESチックサイズ、ソフトウェアの証券が含まれているウィンドウを表示する。例えば、第14図中でハイライトされている「AAPL」という証券は、チックサイズが1／8であり、また、チッカーウィンドウ、マーケットマインド、取引マネージャ、クイックピックウィンドウに含まれている。テキストエリア14010に全ての記号を同時に表示できない場合には、

ユーザはスクロールバー14012を使って記号リストをスクロールすることができる。

証券を選択するには、次ボタン14020または前ボタン14021を使って、現在選択されているものと近接する証券を選ぶか、あるいはある証券を直接特定することができる。直接証券を特定する場合は、記号テキストボックス14025に証券銘柄をタイプする。

ユーザが証券を選択すると、NWIIソフトウェアが、その証券に関連するチックサイズをチックサイズボックス14030に表示する。新規の証券を追加するには、テキストエリア14025に関連する記号を入力して追加ボタン14041を押すだけである。この新規に追加した証券のチックサイズは、NWIIシステムマネージャによって設定されたデフォルトチックサイズである。最初は、証券記号は別のウィンドウには表示されない。全ウィンドウからある証券を削除する場合には、その証券を選択して削除ボタン14042を選択する。

現在選択している記号を特定のウィンドウに追加するには、所望のウィンドウに関連するボタンをボタンエリア14050から選択すればよい。例えば、選択した記号をチッカーウィンドウに追加するにはチッカーボタン14051を選ぶ。また、選択した記号を、マーケットマインドウィンドウに追加するにはマーケットマインドボタン14052、クイックピックウィンドウに追加するにはクイックピックボタン14053、取引マネージャウィンドウに追加するには取引マネージャボタン14054を選択する。

エリア14060内のボタンを使って、選択した証券を特定のウィンドウからアナログ方法で削除することができる。ボタン14061～14064はボタン14051～14054と関連する。チックサイズボックス14030に所望の値をタイプするか、あるいはエリア14080内の、所望のチックサイズと関連するボタンを選ぶことにより、選択した証券のチックサイズを変更することができる。

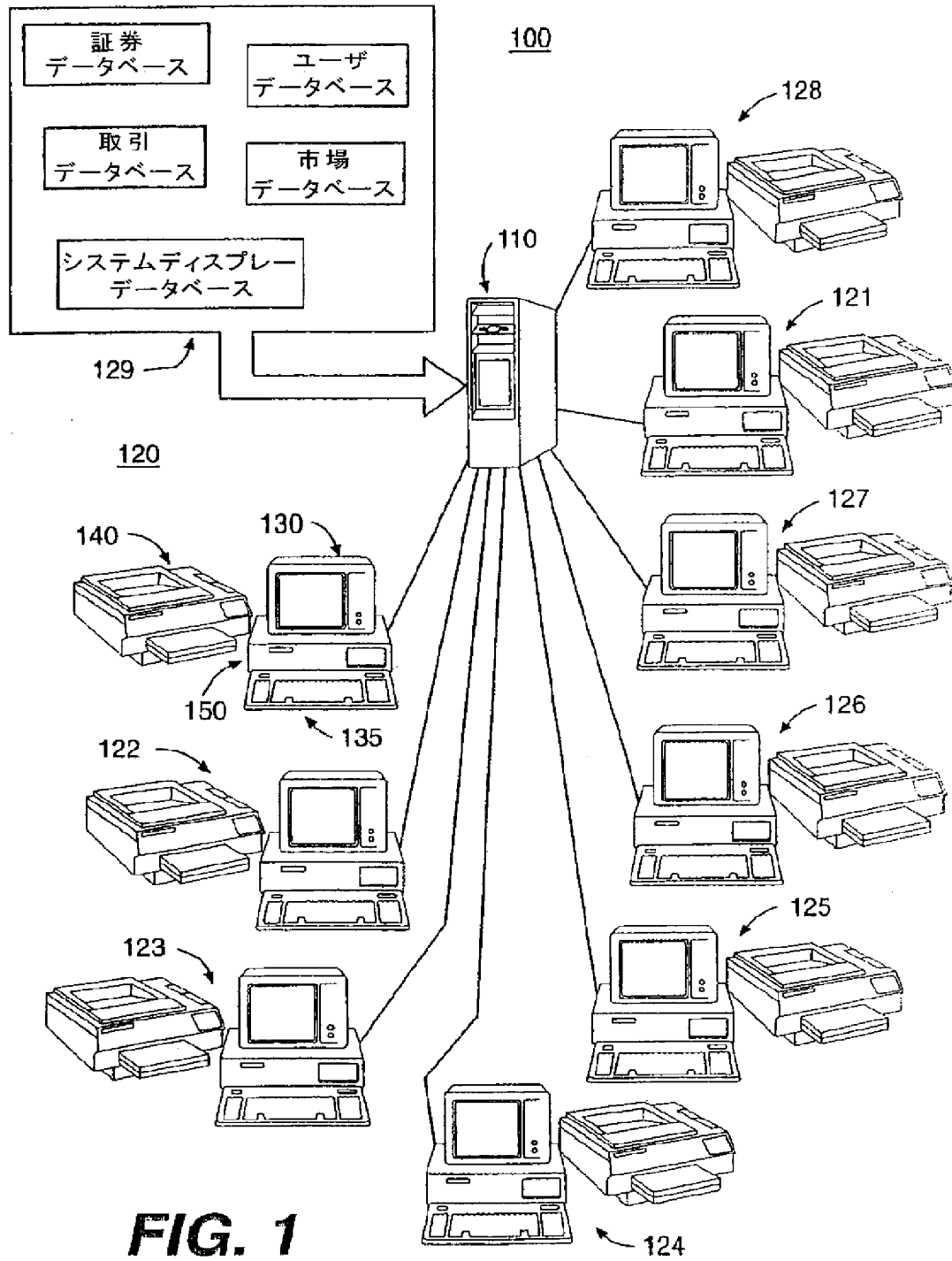
記号管理機能を終了するには設定終了ボタン14086を押す。これにより、NWIIソフトウェアが記号管理ウィンドウを閉じ、前回同じボタンを選択した際に行われた全ての変更を、ユーザが所望する変更全てを完了した際に保存する。

I. 結論

本発明の範囲または精神を逸脱しない限り、本発明の実行および構造に様々な変形と変更を加えることが可能であることが当業者には明らかである。例えば、システムに情報を入力するために、マウス、タッチ画面、音声入力、入力パッド、または類似する装置といった別の入力装置を使用することができる。これと同じように、方法実行のために、ハードウェア構成と同様、情報の集中化レベルを残すこともできる。

ここで開示した本発明の詳細および実施を考慮すれば、当業者には本発明の別の実施例が可能であることも明らかであろう。詳細と例は、例証のみを目的とするものである。本発明の真の範囲および精神は、後述する請求の範囲によって示される。

【図1】



【図2】

2000

NASDAQ ワークステーション II ログオン

SDP: 組織 ID:

ユーザ情報の入力...

ユーザ ID:

パスワード:

☒ 画面設定

著作権 © 1993
NASDAQ 株式市場
全ての権利は保留されており、
非出版物として
著作権で保護されている。

2060 2070 2010 2020 2040 2050 2030 2040

FIG. 2

【図 3】

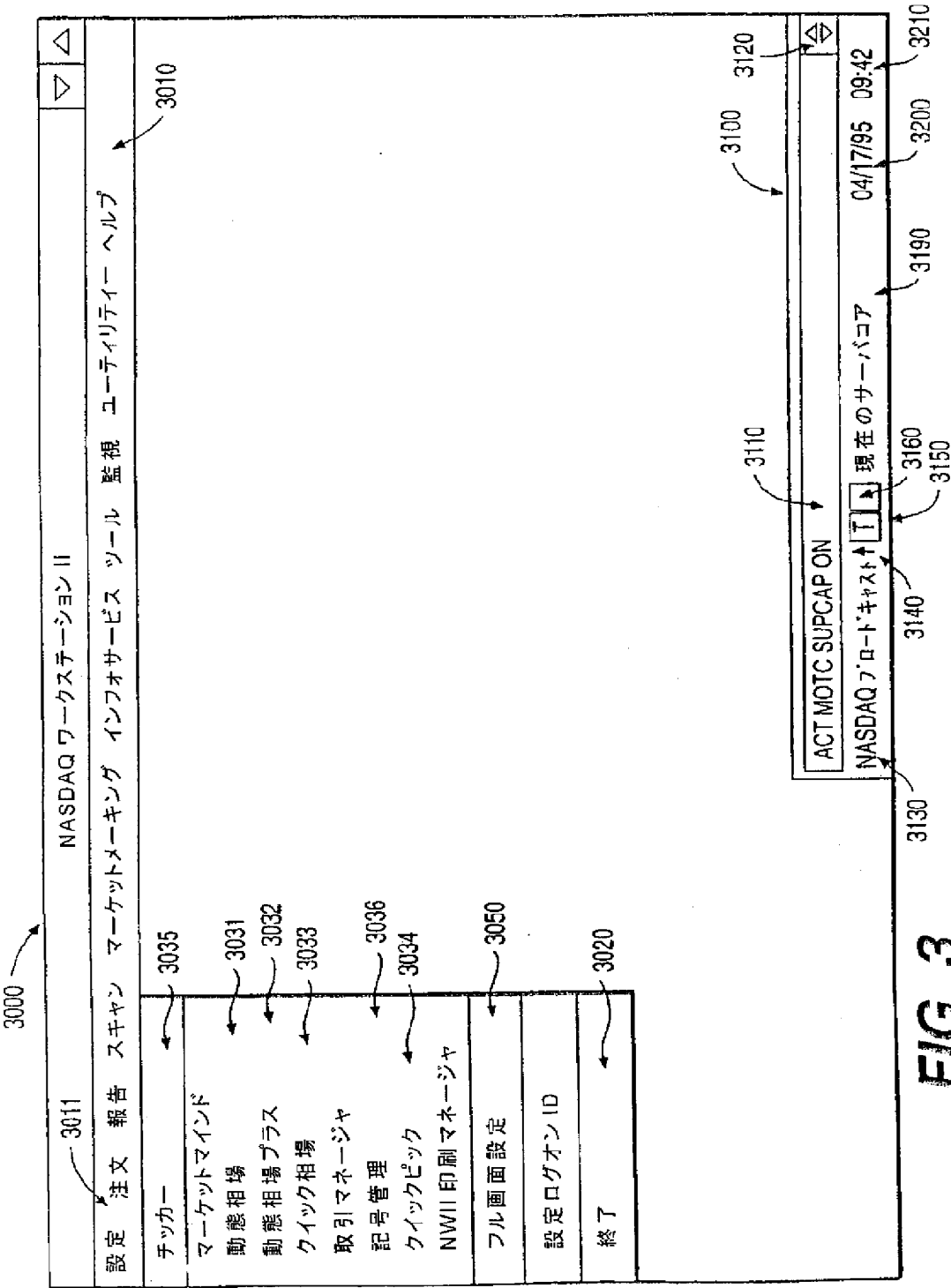


FIG. 3

【図5】

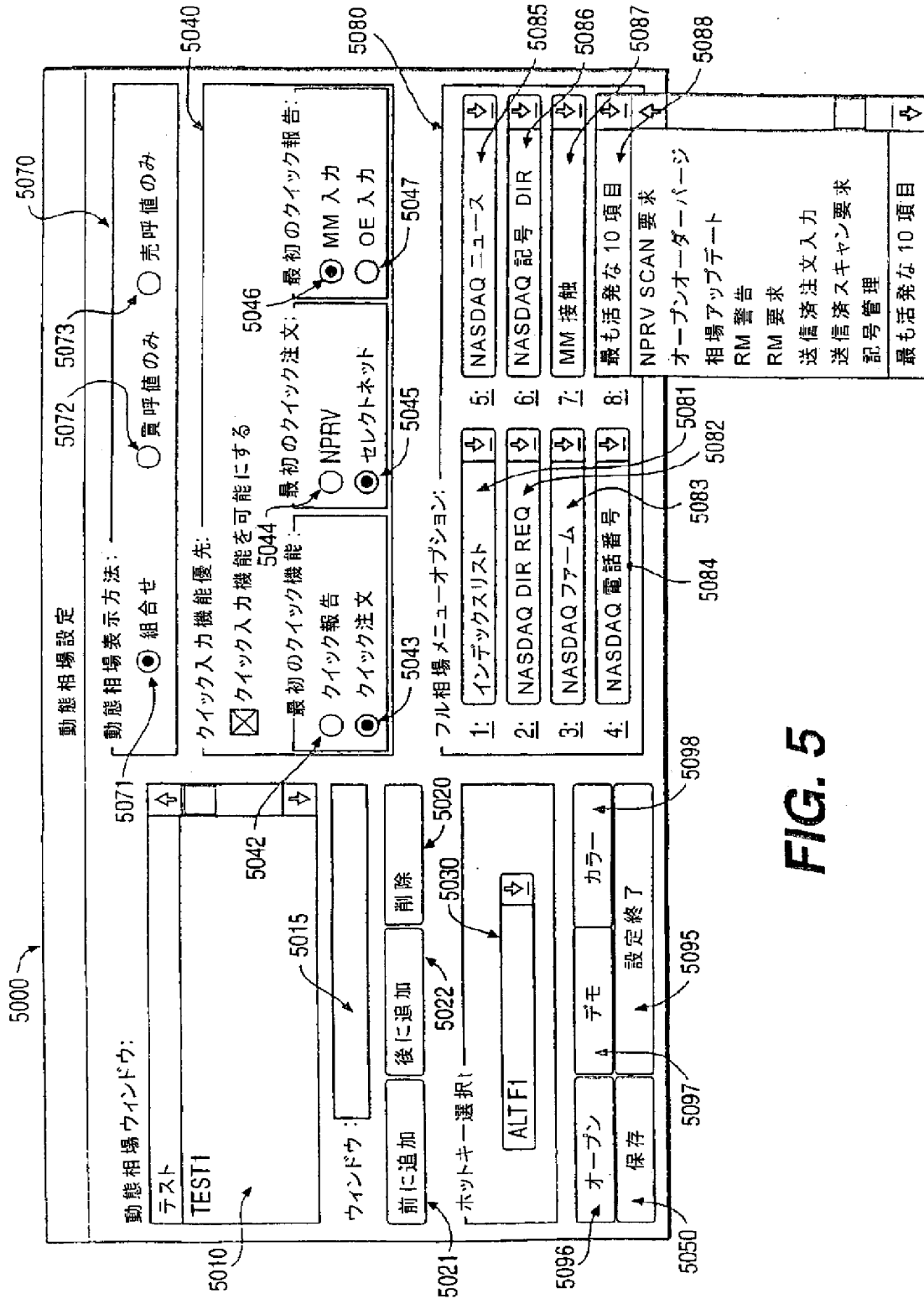


FIG. 5

【図 6】

6000

アップルコンピュータ社

SEC: AAPL COMB. NM10

LAST: 38 3/8 Q +1/8 04:01 VOL: 1864400 PCL: 38 1/4 CL

HILO: 39 3/8 37 7/8

INS: 38 3/8 Q 38 1/2 Q_c

PCL:

INS:

クイックアップデート

UP 1/8 DN

クイック報告 ○ NPRV

クイック注文 ● SENT

送信

クリア

n	DONCE	38 3/4	39 3/8	c 10-10	38	38 1/2	c 10-10	4
n	CHGON	38 3/4	39 1/4	c 10-10	n	BTSC	38 5/8	c 10-10
n	PRUS	39 3/8	38 7/8	c 10-10	n	MONT	38 5/8	c 10-10
n	FBCO	38 3/8	38 7/8	c 10-10	n	PWJC	38 5/8	c 10-10
n	WEED	38 3/8	38 7/8	c 10-10	n	LEHM	38 5/8	c 10-10

1 未使用 2 未使用 3 未使用 4 未使用 5 未使用 6 未使用 7 未使用 8 未使用

6015

6010

6020

6030

6040

6050

6060

6070

6080

6090

AON ANY 過剰 部分 カウンタ 減価 KILL 取替

FIG. 6

【図7】

動態相場プラス設定

相場プラスウィンドウ:

デフォルト

ウィンドウ:

前に追加

後に追加

削除

相場プラスの表示方法:

☒ 組合せ
 ☐ 買呼値のみ
 ☐ 売呼値のみ

クイック入力機能優先:

☒ クイック入力機能を可能にする

最初のクイック機能

最初のクイック注文

最初のクイック報告

☐ クイック報告
 ☐ NPRV
 ☒ MM入力

☒ クイック注文
 ☒ セレクトネット
 ☐ OE入力

ホットキー選択:

ALT F1

相場プラス取引マネージャオプション:

☐ 全ての優先注文

オープン

デモ

カラー

保存

設定終了

相場プラスメニューオプション:

1: 未使用	5: 未使用
2: 未使用	6: 未使用
3: 未使用	7: 未使用
4: 未使用	8: 未使用

FIG. 7

【図 8】

8010

8011 SEC: AAPL

8012 買呼値: MSCO 41 D: 1

8013 売呼値: PWJC 39 3/4 D: 1

8014 NPRV

8015 YOUR: MSCO 41 41 1/2

8020 5/8

8023 クイックアップデート UP 1/4 DN

8025 ☐ QKRPT ☐ NPRV

8031 ☒ QKORD ☒ SENT

8033 送信

8037 クリア

8038

8036

FIG. 8

【図9】

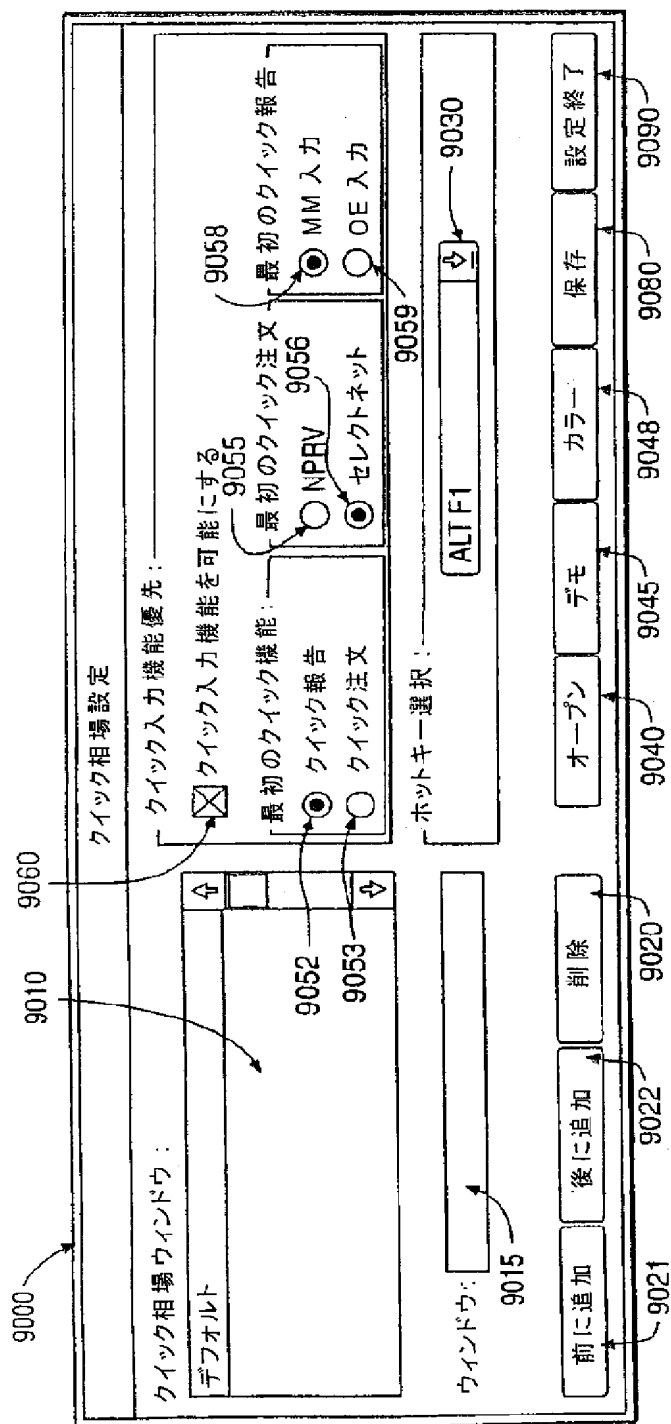
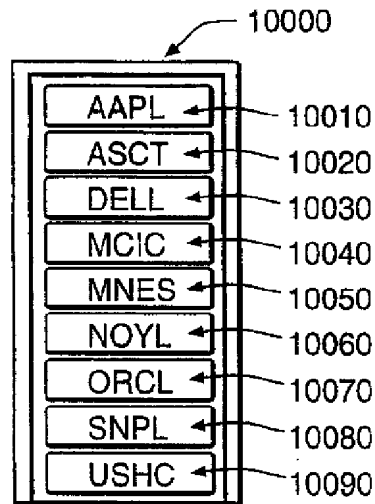


FIG. 9

【図10】

**FIG. 10**

【図12】

ORCL	↓	39 1/4	Q	39 3/8	Q	ORCL	MSCO	38 7/8	39 3/8
ORCL	↓	39 1/4	Q	39 1/2	Q	ORCL	MSCO	39	39 1/2
NOVL		MSCO	16 1/4	16 3/4	NOVL	MSCO	16 3/8	16 7/8	

Diagram 12000 shows a table of stock data with arrows indicating relationships between rows:

FIG. 12

【図11】

11000

クイックピック設定

クイックピックウィンドウ記号 :

AAPL	↑
ASCT	↑
DELL	↑
MCIC	↑
MNES	↑

11010

記号 : 11020

前に追加 11021 後に追加 11022 削除 11023

クルーズ調整オプション :

☒ クルーズ調整を可能にする 11031

遅延(秒) : 20 11032

スタート/ストップキー ALT F10 11033

記号配列 :

横方向 : 4 11043

下方向 : 6 11044

☒ 入力通り

☐ アルファベット順

11051 11052 11053 11054 11055

オープン 保存 デモ 設定終了

FIG. 11

【図13】

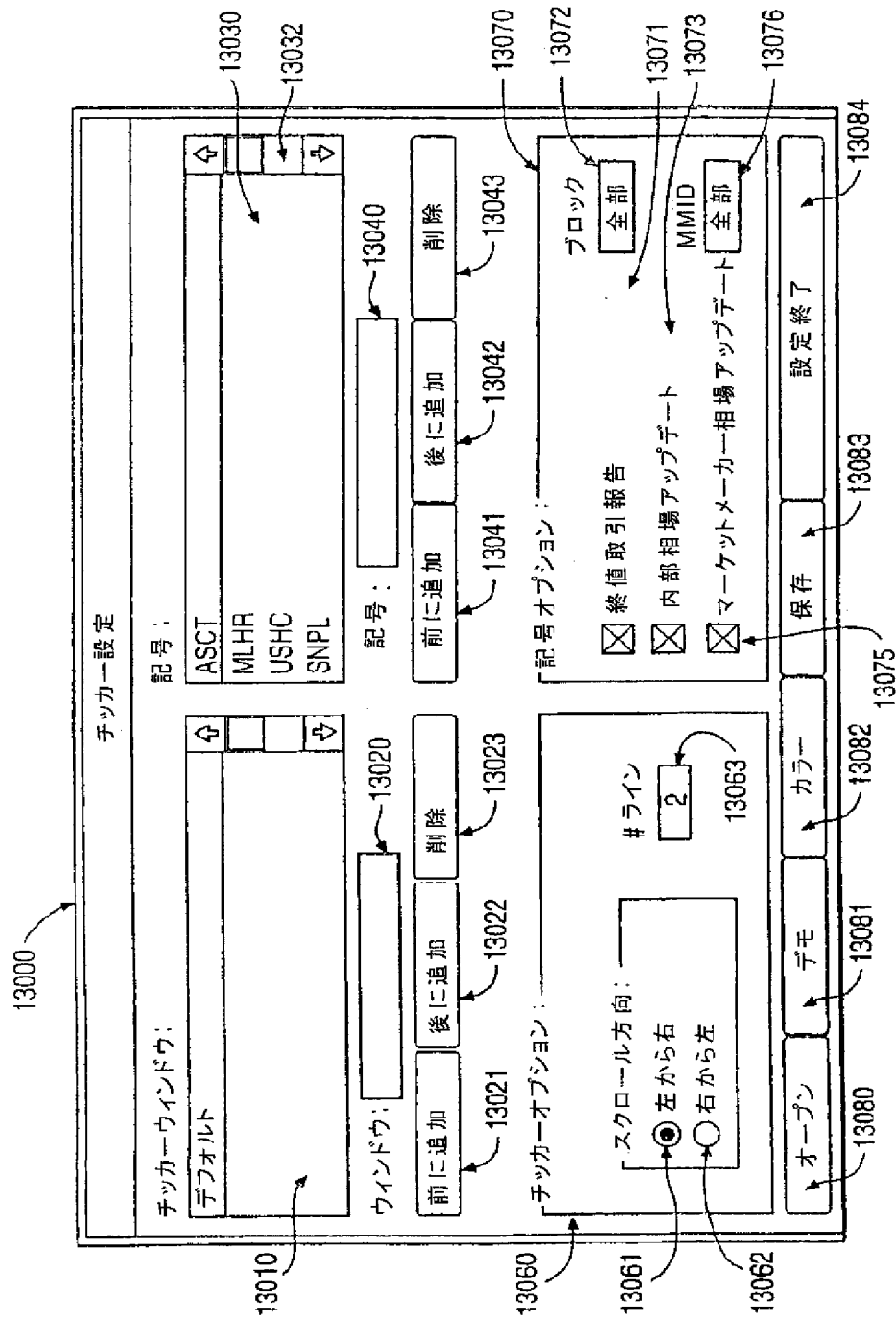


FIG. 13

【図14】

14000

記号管理

記号	チャッカーサイズ	チャッカー	マーケット	マインド	クイック	ピック	取引	マネージャ
AAPL	1/8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
ASCT	1/8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
BBBY	1/8	N	Y	Y	N	N	N	N
BEEF	1/8	N	Y	Y	N	N	N	N
BZHKF	1/8	N	Y	Y	N	N	N	N
DBHT	1/8	Y	Y	N	N	N	N	N
DELL	1/8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
MCIC	1/8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
MLHR	1/8	Y	Y	Y	N	N	N	N
MLIS	1/8	N	Y	Y	N	N	N	N
MNES	1/8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y

以下に追加する:

チャッカー 14051

マーケット 14052

マインド 14053

クイック 14054

ピック

取引

マネージャ

以下から削除:

チャッカー 14060

マーケット 14062

マインド 14063

クイック 14064

ピック

取引

マネージャ

FRAC

1/8

1/4

3/8

1/2

5/8

3/4

7/8

1/16

1/32

1/64

記号: AAPL 14010

チャッカーサイズ: 1/6 14030

14025

次 前 追加 削除 設定終了

14020 14021 14041 14042 14086

FIG. 14

【手続補正書】

【提出日】 平成12年1月19日 (2000. 1. 19)

【補正内容】

(1) 図面中、第3図～第6図、第8図、第9図、第14図を別紙の通り補正する。

【図3】

【図4】

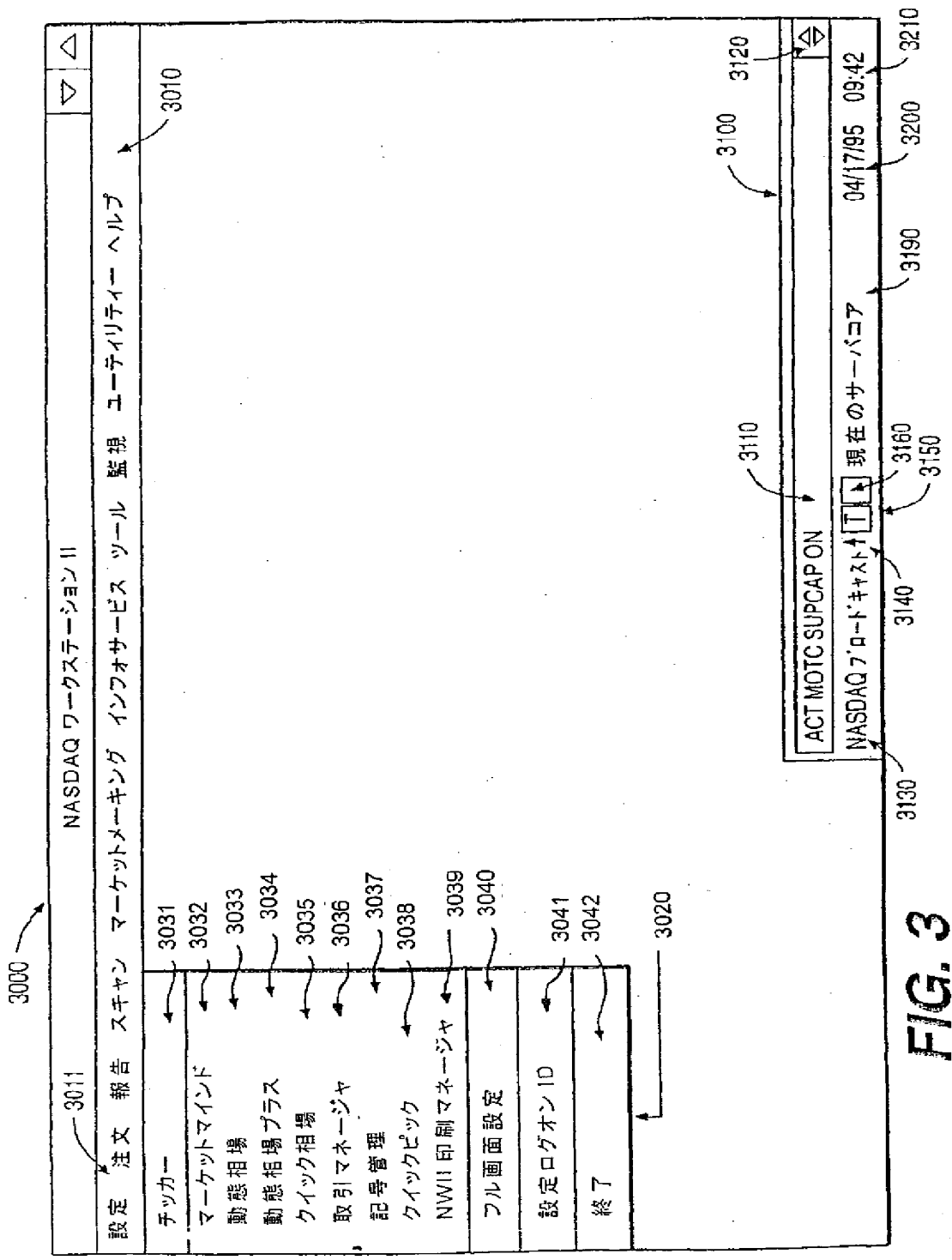


FIG. 3

FIG. 4

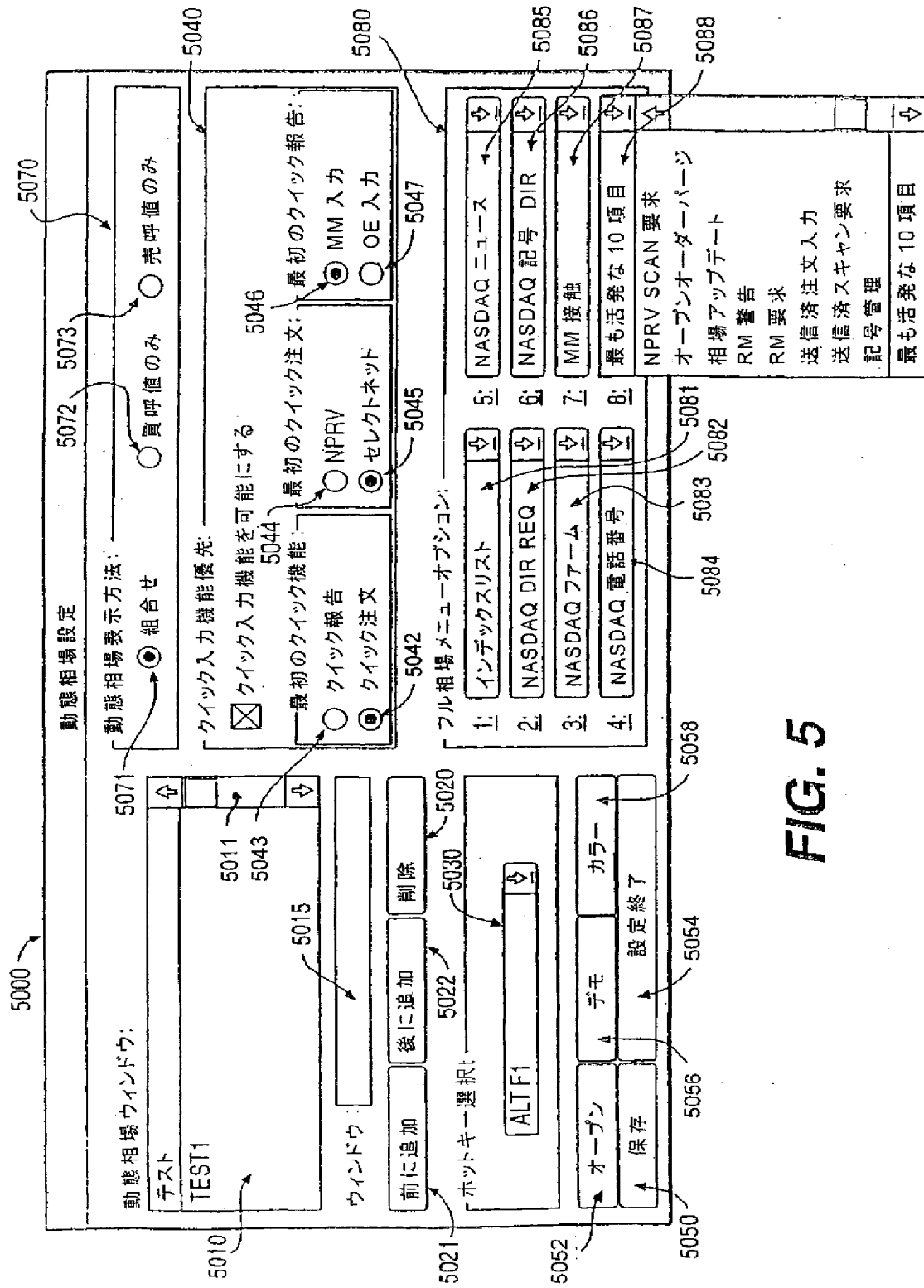


FIG. 5

【図8】

アップルコンピュータ社

6005 6000

SEC: AAPL COMB. ☒ NM10

LAST: 38 3/8 Q +1/8 04:01 VOL: 1864400 PCL: 38 1/4 ☐ CL

HILO: 39 3/8 37 7/8

INS: 38 3/8 ☒ Q 38 1/2 Q_c ☐ PCL: ☐ INS:

クイックアップデート ☐ クイック報告 ☐ NPRV ☐ クイック注文 ☒ SENT

UP 1/8 DN

n	DONCE	38 3/4	39 3/8	c 10-10	38	38 1/2	c 10-10	↑
n	CHGON	38 3/4	39 1/4	c 10-10	n	BTSC	38 5/8	c 10-10
n	PRUS	39 3/8	38 7/8	c 10-10	n	MONT	38 5/8	c 10-10
n	FBCO	38 3/8	38 7/8	c 10-10	n	PWJC	38 5/8	c 10-10
n	WEED	38 3/8	38 7/8	c 10-10	n	LEHM	38 5/8	c 10-10

1 未使用 2 未使用 3 未使用 4 未使用 5 未使用 6 未使用 7 未使用 8 未使用 9 未使用

6015 6010

AON ANY 過剰 部分 カウンタ 減価 KILL 取替

6020 6030 6040 6050 6060 6070 6080 6090

FIG. 6

8010

8011 SEC: AAPL

8012 買呼値: MSCO 41

8015 売呼値: PWJC 39 3/4

8013 D: 1

8014 D: 1 NPRV

8015 YOUR: MSCO 41 41 1/2

8025 5/8

8031 クイック アップデート

8020 UP

8023 1/4 DN

8023 ☐ QKRPT ☐ NPRV

8033 ☒ QKORD ☒ SENT

8030 送信

8037 クリア

8036

8038

FIG. 8

【図 9】

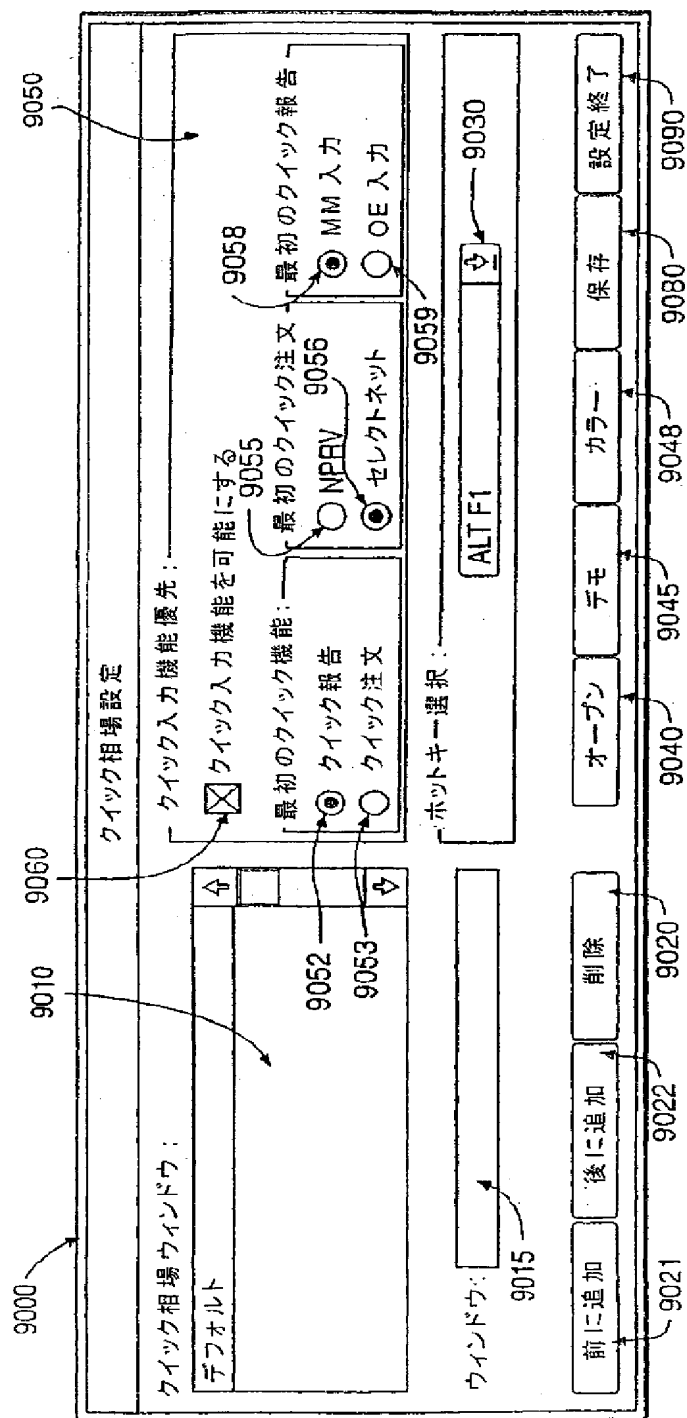


FIG. 9

14000 記号管理

記号	チッカーサイズ	チッカー	マーケット	マインド	クイック	ピック	取引	マネージャ
AAPL	1/8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
ASCT	1/8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
BBBY	1/8	N	Y	Y	N	N	N	N
BEEF	1/8	N	Y	Y	N	N	N	N
BZHKF	1/8	N	Y	Y	N	N	N	N
DBHT	1/8	Y	Y	N	N	N	N	N
DELL	1/8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
MCIC	1/8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y
MLHR	1/8	Y	Y	Y	N	N	N	N
MLIS	1/8	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y
MNES	1/8	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y

以下に追加する:

チッカー	1/8	14051
マーケット	1/4	14052
マインド	3/8	14053
クイック	1/2	14054
取引	5/8	
マネージャ	3/4	
以下から削除	7/8	14060
チッカー	1/6	14061
マーケット	1/32	14062
クイック	1/64	14063
取引	FRAC	14064
マネージャ		

14010 記号: AAPL 14025 チッカーサイズ: 1/6 14030

14020 次 14021 前 14041 追加 14042 削除 14043 設定終了 14086 14080

FIG. 14

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/US97/17131

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER IPC(6) : 006F 17/60 US CL : 705/33, 37 According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) U.S. : 705/35, 37 Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) APS		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US 5,297,032 A (TROJAN ET AL.) 22 March 1994, abstract, col. 2, line 22 to col. 3, line 20 and col. 8, line 52 to col. 9, line 18.	1-25
—		-----
Y	col. 2, line 22 to col. 3, line 20	26-28
Y	US 5,490,245 A (WUGOFSKI) 06 February 1996, abstract and col. 2, line 10 to col. 3, line 31.	26-28
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "B" earlier document published on or after the international filing date "L" document which may throw doubt on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "Z" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 29 DECEMBER 1997		Date of mailing of the international search report 28 JAN 1998
Name and mailing address of the ISA/US Commissioner of Patents and Trademarks Box PCT Washington, D.C. 20231 Facsimile No. (703) 305-3230		Authorized officer GAIL HAYES <i>Joni All</i> Telephone No. (703) 305-9711

フロントページの続き

(81)指定国 EP(AT, BE, CH, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AP(GH, KE, LS, MW, SD, SZ, UG, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CU, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, GB, GE, GH, HU, ID, IL, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, UA, UG, UZ, VN, YU, ZW

(72)発明者 ディーナト、マーク
アメリカ合衆国 10506 ニューヨーク州
ベッドフォード シダー ヒル ロード
127

(72)発明者 バン、メイ
アメリカ合衆国 07052 ニュージャージー
州 ウェスト オレンジ ウッズ エン
ド ロード 6

(72)発明者 フリン、エドワード
アメリカ合衆国 06470 コネチカット州
ニュータウン ウィリアムス レーン
3

(72)発明者 ウォルドルフ、マイケル
アメリカ合衆国 06810 コネチカット州
ダンベリー ボコノ レーン 24

(72)発明者 スィート、パメラ エー.
アメリカ合衆国 06403 コネチカット州
ビーコン フォールス ドーチェスター
コート 73

(72)発明者 コーズ、ディーン
アメリカ合衆国 06525 コネチカット州
ウッドブリッジ ブライアーウッド ド
ライブ 11

(72)発明者 ホール、ダイアン ギバース
アメリカ合衆国 10538 ニューヨーク州
レアモント フリント アベニュー 15

(72)発明者 ソロモヴィッツ、イラ
イスラエル国 サバ イスファール モシ
ェ ダヤン ストリート 6エー アパー
トメント 9エー

(72)発明者 フランク、モーリーン
アメリカ合衆国 07305 ニュージャージ
ー州 ジャージーシティー ウォルナット
ストリート 12

[\[Sign In / Register \]](#)
[Home](#) [Search the Library](#) [Resource Center](#) [Your Account](#) [Our Company](#)
[Search Patents and Non-Patent Literature](#)

Entry for Patent Application Publication JP 2001-501333 A (30-Jan-2001)

[Front Page](#) [First Page Image](#) [Description](#) [Claims](#)

Japanese Application Publication (Source: DOCDB)

Publication No. JP 2001-501333 A published on 30-Jan-2001

Application No. JP (1998)-515867 T filed on 25-Sep-1997

Priority

WO 97/17131 [1]

Classifications

International (2006.01): G06F 3/048; G06F 3/00; G06F 9/44; G06G 40/00

International: G06F 17/60, 7G 6F

European: G06G 40/00B

Also Published As

US 2001/0003179	application	On-line transaction processing system for security trading
US 6195647	patent	On-line transaction processing system for security trading

Practice Futures Trading

Sharpen Your Futures Trading Skills w/ A Free Virtual Trading Account!

optionsXpress.com/Futures

[AsChoices](#) ▶



There's no image
data available for
this publication

SBA - Exporting Made Easy

Six simple steps to
help you go global.
www.SBA.gov/whyexport

How To Patent Your Idea

3 Easy Steps To
Patent & Make Money
Get A Free Patent &
Invention Kit

www.Patent.Invention-Hom...

Have an Invention Idea?

Don't know what to do
next? We help
inventors! Free
Information.

www.Inventhelp.com

Massachusetts Liens

Your Mechanic's Lien
Will Be Served Within
24-48 Hours File
Online Now!

www.SpeedyLienInc.com

Ask a Lawyer Online Now

12 Lawyers Online.
Wait < 7 Min. Legal
Answers Today: 345.

Law.JustAnswer.com



[JP 2001-501332 A <](#)

[JP 2001-501334 A >](#)

[Terms of Use](#) | [Privacy Policy](#) | [About the Company](#) | [Contact Us](#)

Copyright © 2009-2011 IP.com. All Rights Reserved.